

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

特定非営利活動法人市民社会研究所

## 1 総括

## (1) 2022年度の新しい動き

- ① 「つながりの仕事おこし事業」スタート (ユニバーサル就労センターとの共同事業)
- ② 「みんなの和プリン」販売開始
- ③ スプラウト文化教室の実施
  - \* 地域の高齢者の「居場所」の模索
- ④ 新しいロゴ完成
  - \* リーフレット・ホームページ改訂は次年度
- ⑤ 北勢地域若者サポートステーションの態勢交代
- ⑥ 関連団体関係
  - ・ みえ県民交流センターの新たな指定管理が始まる  
(みえNPOネットワークセンター+ささえあいのまち創造基金のコンソーシアム)
  - ・ (公財) ささえあいのまち創造基金の全県展開開始
  - ・ ユニバーサル就労センターの新事務所の契約



## (2) 「基本方針」に沿った全体総括

- ① 定款の3つの目的(市民自らが主体となる市民社会の発展・あらゆる人が包摂される社会づくり・市民社会の多様な主体の連携)に沿った事業を推進する。
  - 3つの目的をより明確にするために、スタッフ間で意見交換しながら「ひと・つなぐ・変える」というフレーズを作り、ロゴマークを制作した。
  - ただ、個々のスタッフの任務にこのフレーズをどのように体現するか、スタッフ自身による位置付けを行う機会が作られていない。
- ② 「就労」を通じた社会的包摂の重要性及びこれを推進するNPOであることを組織内外に明確化するとともに、NPOならではの支援スキルを高める。このため、NPO法人ユニバーサル就労センターの合併に向けた協議を行う。
  - 「北勢地域若者サポートステーション」「伊勢おやき本舗」「スプラウト」及び「ユニバーサル就労センター」の連携による就労支援は、他に例を見ない取組みとして評価が定着してきた。2022年度はこれに「つながりの仕事おこし」事業が加わり、「就労を通じた社会的包摂」の地域へ広がりへの一歩を踏み出した。
  - ただ、ユニバーサル就労センターとの合併は事業遂行上のデメリットも指摘され、当面は見送ることとなった。
- ③ 地域から支持されるNPOを目指し、認定NPO法人取得に向けた準備を進める。
  - 認定NPO法人の検討は行ったが、現在の事業内容では継続的な寄付金の取得は容易ではないこと、関連団体の公益財団法人ささえあいのまち創造基金の寄付金集めが必要な事業が2022年度から加わったことから、当面は取り組まないことにした。
- ④ 他団体の事務局のあり方を見直し、最適な形を目指す。
  - 東海市民社会ネットワーク、みえNPOネットワークセンターの事務局の見直しを行った。
- ⑤ 「研究所」としての機能強化を図る。
  - 中島会員による「水平社宣言を読む」の発表ができたが、研究所としての機能強化には至らなかった。

## 2 市民自らが主体となる市民社会の発展

### (1) 人権・市民教育

#### ① 「実践行動につながる人権のまちづくり研修支援事業」(三重県委託事業)

県民に対して「人権尊重の視点に立ったまちづくり」に関する研修会の実施

28回、参加者 778人

(仕様書 25回程度、参加者数 1,500人をめど)

令和4年度 実践行動につながる人権のまちづくり研修支援事業 実績集約表

	実施日	団体名	演題	講師
1	6月9日	紀北地域人権まちづくり推進協議会	ポストコロナ社会と人権	松井
2	6月25日	エネルギー環境教育研究会	人権を学ぶ	松井
3	7月26日	松阪市立第一小学校	性の多様性	松井
4	7月29日	地域づくり研究会	支え合うまちづくり	松井
5	8月12日	仕事おこし会議	支え合うまちづくり	松井
6	8月17日	松阪市立第五小学校	障害がある人の人権	松井
7	8月27日	中部地区なでしこカフェ	いじめ問題を考える	田中
8	9月3日	コミュニティ研究会	一人ひとりを大切にする地域活動	松井
9	9月13日	障害者体育センター運営委員会	性の多様性	松井
10	9月16日	内部地区人権教育推進協議会	高齢者の人権	松井
11	9月22日	明正地区民生委員児童委員協議会	ひきこもりとその支援	金
12	10月2日	松阪高校通信制	性の多様性	松井
13	10月5日	桑名市まちづくりを考える会	障害者の人権	松井
14	10月8日	四日市人権のまちづくりの会	社会的孤立と居場所	松井
15	10月26日	三重県人権擁護委員伊賀協議会	女性の人権と男女共同参画	松井
16	11月1日	三重県市民活動研究会	支え合うまちづくり	松井
17	11月2日	桑名市まちづくりを考える会	性の多様性	松井
18	11月16日	菟野町まちづくり協議会	新型コロナウィルスとまちづくり	松井
19	11月27日	明和町人権学習会	部落問題について	松井
20	11月30日	エスペランス桑名	子どもの人権	松井
21	12月10日	コミュニティ研究会	支え合うまちづくり	松井
22	12月17日	(公財) ささえあいのまち創造基金	支え合うまちづくり	松井
23	1月23日	亀山市協働研究会	支え合うまちづくり	松井
24	2月10日	太陽生命四日市支社	子どもの人権	松井
25	2月24日	太陽生命津支社	子どもの人権	松井
26	2月25日	NPO 法人ユニバーサル就労センター	水平社宣言を読む	中島
27	3月2日	NPO 法人 Shining	孤独・孤立と居場所	松井
28	3月7日	笹川地区まちづくり研究会	誰も取り残さないまちづくり	松井

#### ② スプラウト文化教室での市民講座

3 (3) トレーニングカフェ・スプラウト「スプラウト文化教室」一覧を参照

- ③ 事務局を担う諸団体が行う人権・市民教育に関する事業への参加・協力
- ・NPO 法人みえ NPO ネットワークセンター（みえ市民活動ボランティアセンター）  
未来のシティズンシップ講座  
グローバル市民講座
  - ・(公財) ささえあいのまち創造基金  
四日市市熟年大学「地域で市民活動・市民協働を進めるために」(7/29)  
四日市市人権大学（あすてっぶ）「居場所の意味を考える」(10/8)  
四日市市地域づくりマイスター養成講座
    - ・NPOとボランティア・住民同士の話し合いの進め方 (9/3)
    - ・地域で市民活動・市民協働を進めるために (10/1)
    - ・レポート講評 (12/10)
  - ・東海市民社会ネットワーク  
「市民の立場から平和を語ろう」(6月4日) など

## (2) 政治・行政への参画

- ① 事務局を担う諸団体が行う人権・市民教育に関する事業への参加・協力
- ・NPO 法人みえ NPO ネットワークセンター（みえ市民活動ボランティアセンター）  
市民活動に関する調査と政策対話 \*テーマ「中間支援組織」
  - ・東海市民社会ネットワーク  
来年度のG7サミットに向けたG7市民社会コアリション2023に連動する活動
- ② G7サミットに向けた「平和と核兵器廃絶へのメッセージ」の作成・送付

## 3 就労を通じたあらゆる人が包摂される社会づくり

### (1) 北勢地域若者サポートステーション

#### ① 総括

就職者等数は前年実績を下回ったが次年度につながる見込みの利用者が数名いた。新規登録者数は、上回る事が出来た。R4年度の傾向としては、インターク予約の段階から精神疾患など重い事例が多く進路決定までに長い期間を要する方が多くみられる。また、ひきこもりなど本人ではなく親御さんの利用が増え直接本人の支援に至りにくい傾向がある。しかしながら、就職等数は前年比がR3年度も80%であったことから見ると例年並みと思われる。目標比は下がっていく傾向が続いているので危機感を持って次年度に活かしたい。

また、スタッフの退職もあり一時人員不足もあった事も要因の一つと考えられる。

#### ・就職者等数

目標：120人⇒実績92人+1人進学（目標比78%：前年比84%）  
（内、就職氷河期世代12人）

#### ・新規登録者数

目標：170人⇒実績109人（目標比64%；前年比106%）  
（内、就職氷河期世代17人）

#### ・延べ相談件数：2734件

（内、就職氷河期世代213件）

#### ② 集中訓練プログラム：40日間×年2回（県内ほくサポのみ実施）

- ・前期8名、後期7名の計15名にて実施することができた。前期では8名中7名が進路決定し、後期においても継続支援が続いており積極的に就活を行っている。
- ・前年同様コロナ対策として、定員の倍以上の広さの部屋を確保し、換気、消毒等の感染症対策を滞りなく行い実施することができた。

### ③ その他

- ・全国サポステ事例集に、ほくサポが 40 代無業者等の支援好事例として巻頭ページに掲載された。好事例で紹介されたのは全国 177 サポステ中 22 のサポステで小冊子として全サポステ及び労働局に配布された。
- ・「ほくサポボランティア」(月 4 回) で市内幼稚園に「手作りお手玉」の寄付を行ったと同時にサポステのチラシ(仕事と子育ての両立)を配布していただいた。
- ・新たに四郷地区においてサポステ説明会(4か所)・回覧を行った。



## (2) 伊勢おやき本舗

### ① 総括

- ・ユニバからの B 型の目標受け入れ人数 5 人を達成し、実習生や体験の受け入れ等も増加するなど、就労に困難を抱える人の受け入れを順調に進めた。また、受け入れた人々を和やかな雰囲気の中で的確に訓練し、能力の向上に寄与した。
- ・スプラウトの連携を強化し、利用者の訓練の幅が広がった。
- ・おやきの定期販売場所が 1 件増え(みえ県民交流センター)、認知度が上がった。
- ・サブレの「じばさん」での売れ行きが向上したほか、四日市市のイベントや四日市大学の卒業式で使われるなど、認知度が上がった。
- ・吉本興業、四日市大学と連携して開発した「みんなの和プリン」を発売し、吉本興業との協力関係が強まった。



### ② 売上(円)

	2020	2021	2022
おやき	600,610	595,812	588,240
サブレ	761,680	429,998	854,815
弁当	994,100	886,400	541,200
他	268,950 (ピロシキ等)	0	262,160 (和プリン)
合計	2,625,340	1,912,210	2,246,415

### ③ B型、就労体験等受入れ(人)

	B 型		就労体験	
	2021	2022	2021	2022
ユニバ	3	5	4	10
ほくサポ	—	—	6	6
その他(特別支援学校)	—	—	3	4

### (3) トレーニングカフェ・スプラウト

#### ① 総括

- ・多様な受け入れ先からトレーニング生や体験者を受け入れることができた。
- ・カレーの調理等カフェならではのトレーニングを行い、成果をあげることができた。
- ・日替わり定食の人気が出てきて、新しい利用者が増えてきた。

#### ② 売上 (円)

2019	2020	2021	2022
5,802,540	4,442,790	3,429,100	2,363,800

#### ③自治体、ほくサポ、ユニバと連携した就労トレーニング生の受け入れ人数 (人)

派遣元	受入れ人数	
	2021	2022
四日市市 (生活困窮者就労準備支援)	4	4 (紹介 6)
鈴鹿市 ( " )	0	0
ユニバ	13	12+B型 2
ほくサポ	5	6
体験 (特別支援学校等)	0	3



スプラウトのトレーニングによって  
初めての就職を成功させた Y さんを囲んで

#### ④ スプラウト文化教室の実施

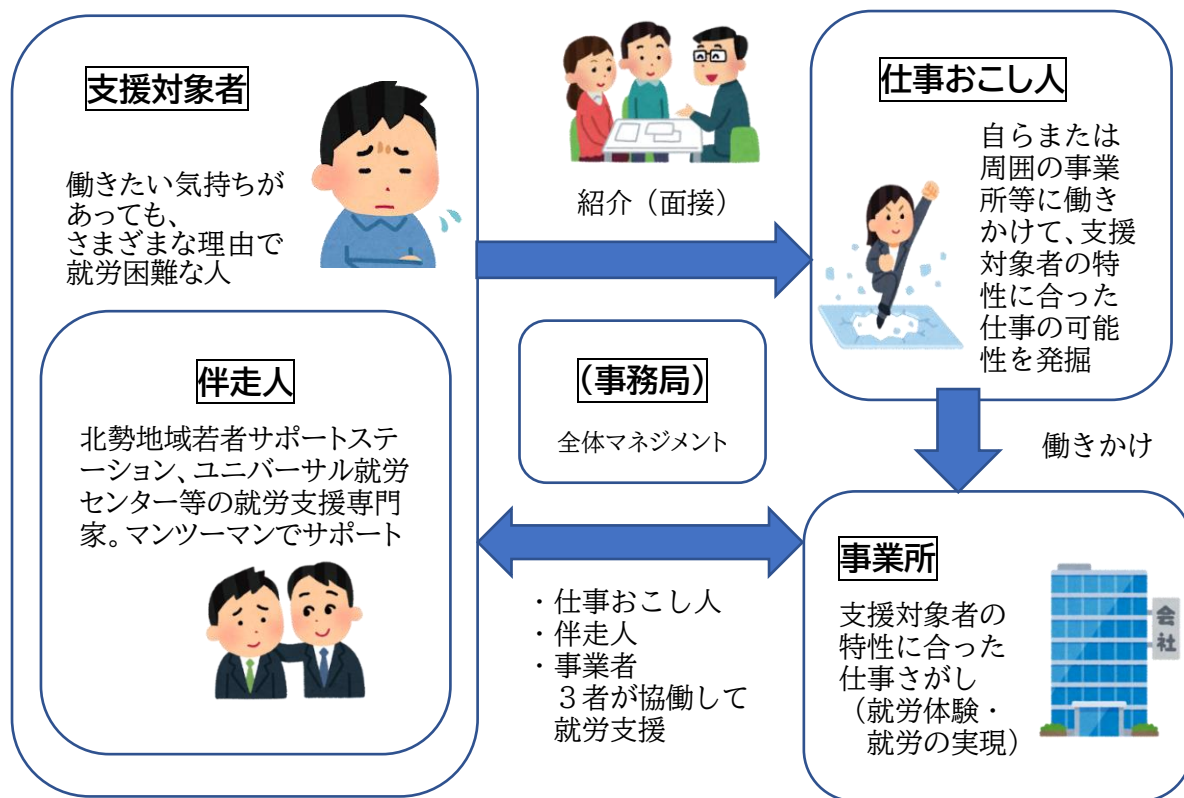
曜日	内 容	講 師
6月18日 (土)	あなたの質問に答える～ウクライナ問題と平和	松井幸夫さん
6月25日 (土)	みんなで歌おう!	堀木厚子さん
7月9日 (土)	仏教入門	坂野大徹さん
8月13日 (土)	みんなで歌おう!	堀木厚子さん
8月27日 (土)	「いじめ絶滅計画」と「みんなの和プリン」	オレンジ田中さん
9月10日 (土)	障害を乗り越えて前へ!	ユニバ利用者さん
9月24日 (土)	牛乳パックのスマホスタンドづくり	ほくサポ
10月15日 (土)	四日市コンビナートの生い立ちを語る	米屋倍夫さん
10月29日 (土)	紙芝居&おしゃべり①	スプラウト訓練生
11月26日 (土)	みんなで歌おう!	堀木厚子さん
12月10日 (土)	障害がある私の過去・現在・未来	ユニバ
1月14日 (土)	ディベート体験	市民社会研究所
1月28日 (土)	アロマとマッサージ	近藤範子さん
2月11日 (土)	水平社宣言を読む	中島久恵さん
2月25日 (土)	紙芝居&おしゃべり②	スプラウト
3月11日 (土)	みんなで歌おう!	堀木厚子さん
3月25日 (土)	問題提起と意見交換～核兵器廃絶はできるのか	松井幸夫さん

(4) 地域のキーパーソンによる「つながりの仕事おこし」事業 (SSK・ユニバ共同事業)

\* 休眠預金コロナ枠事業 (資金分配団体: 公益財団法人中部圏地域創造ファンド)

\* 詳細は別冊報告書参照

① 概要



仕事おこし人 (2023年2月20日現在)

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
株式会社うつぶ農園	会長	上 麻理	「男の囲炉裏端」の会	代表	志田米蔵
四日市諏訪商店街振興組合	専務理事	水谷武生	(特活) 下野・活き域ネット	理事長	谷口欽衛
(特活) ニコニコ共和国	理事長	高井俊夫	三重県中小企業家同友会	事務局長	成川総一
なでしこカフェ	代表	堀木厚子	(今後拡大の予定)		

② 実績

ア) 会議等

- ・ 仕事おこし人会議 3回
- ・ 成果発表会 2月26日 本町プラザ1F

【成果発表会後のアンケート】

- ・ 「この事業の必要性は理解できたか？」 97%の方が「理解できた」
- ・ 「仕事おこし人」の新規募集に10名の申し込み

イ) 成果

- ・ マッチング提案数 29件
- ・ 紹介企業数 23社
- ・ 紹介職種 15種
- ・ 就労決定者数 5名
- ・ 企業で就労訓練中 2名



#### 4 調査研究

##### (1) 各種調査研究

- ① 人権に関する調査研究
  - ・「水平社宣言を読む」(SSK調査研究シリーズ②)
- ② 生活困窮や社会的孤立に関する研究
  - ・四日市大学ゼミ研究と連携した子ども・若者の孤立の研究  
「子ども・若者の孤独・孤立を予防する『居場所』の研究」
- ③ 力強い市民社会の形成に関する研究
  - ・「NPOと行政との協働と中間支援組織」の調査と政策対話  
(みえ市民活動ボランティアセンター事業として実施)
  - ・「NPO固有の機能からみた自治体の『NPOとの協働』の課題」  
(代表個人の研究として実施)
  - ・「食でつながるまちづくり」の実践的な研究  
(ささえあいのまち創造基金の四日市市市民協働事業として実施)

##### (2) 研究成果の発信

- ① 「水平社宣言を読む」の学習会(2月11日 スプラウト文化教室)
- ② 自治体とNPOとの政策対話「中間支援組織について」(2月14日)
- ③ 食でつながるまちづくりシンポジウム(3月4日)

#### 5 他団体との連携と事務局のあり方の検討

- ① 公益財団法人ささえあいのまち創造基金  
事務局 → 維持
- ② NPO法人みえNPOネットワークセンター  
事務局 → 検討中
- ③ 東海市民社会ネットワーク  
事務局 → 次年度は岐阜NPOセンターに移管